

そうだね。 雪が降っても安心だね。

舟形町は町内全域が特別豪雪地帯となっていて、冬の私たちの生活は雪と切っても切り離すことのできないものとなっています。町では私たちが安心して“雪国で暮らす”ための取組みが行われています。

町の道路除雪

冬でも安全な交通を確保

町では雪の中での安全な交通の確保などを目的に、町道除雪を行なっています。**独自に小型ロータリ除雪車を導入するなど、きめ細やかな道路除雪を行なっています。**除雪事業の概要は次のとおりです。

- ▼ **出勤基準** / 10cm以上の新雪が観測、または予想される時
- ▼ **出勤判断時間** / 原則、午前1時30分と午前4時
- ▼ **除雪路線** / 町道や公共施設
- ▼ **除雪体制** / ロータリ除雪車11台（うち小型2台）、除雪ドーザー2台

また、万が一の機械トラブルにも備えて予備のロータリ除雪車を2台用意しています。

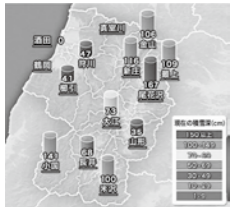
通勤・通学を支える冬の仕事

町内全域を第1〜13工区に区分して実施していて、除排雪業務を担当する事業者が委託されています。**できるだけオペレーターが熟知した工区を担当できるよう、同一事業者による同一箇所の作業を実施しています。**計7事業者、町内在住の26名の熟練したオペレーターが私たちの通勤や通学を支えています。

また、今年度は町内4カ所の道路に積雪観測センサーを設置しました。このセンサーから得られた情報は、一般公開用ではなく、受託事業者が活用し、深夜早朝の見回りの軽減と天候の急激な変化に対応できるようにしていきます。

一般公開向けとして、県では山形県雪情報システムで降雪量予測情報を提供していますので活用ください。

山形県雪情報システム



～interview～ インタビュー

除排雪業務除雪車オペレーター

～ お互いにマナーを守りながら、ご協力を～

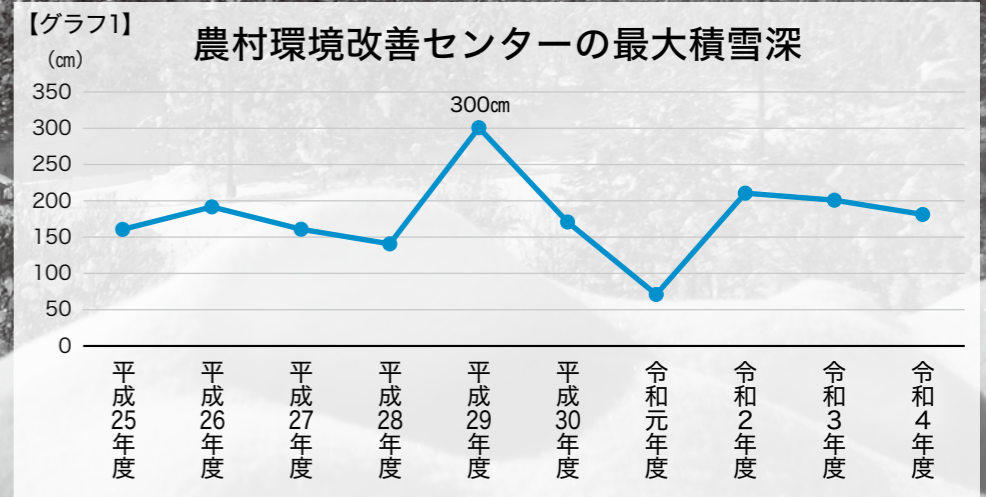
交通の増える出勤時までには町道や生活道路の除雪を終えるために、午前1時30分くらいから除雪を開始しています。それから午前8時まで除雪を行います。加えて降雪が多いときにはその後に続けて排雪を行い、夕方くらいまでかかることもあり、大変な仕事でもあります。担当している地区の町民の方に頼りにもされていると感じながら、冬の生活の改善のため、責任感を持って除排雪に取り組んでいます。町では例年同じ工区に担当者を割り当てるなど、安全性がより高く、効率的に取り組んでくれていると感じています。

大雪になれば作業にどうしても遅れが生じることがありますし、雪の捨て場に困ることはありますが、事業者も町民の方もお互いにマナーを守りながら、ご協力をいただきたいです。

今後は後継者の育成などにも力を入れ、持続可能な除排雪を目指していきたいと思っています。

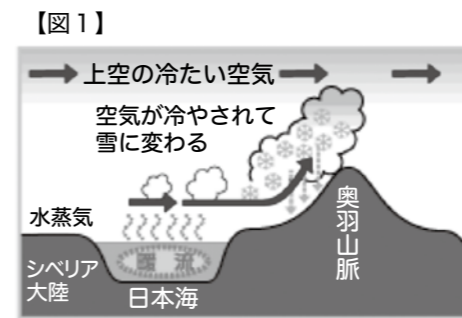


第7工区担当
(有)丸産機興
奥山 政憲さん



なぜ、舟形に雪が降る？

舟形町を含む最上地方に雪が多い理由は、「日本海」と「奥羽山脈」の影響にあるようです。日本では、冬に大陸から北西の季節風が吹きます。その季節風は日本海を渡る時、対馬海流という暖流から上るたくさんの水蒸気を含みます。湿った空気は雲になり、季節風に乗って高い山につきあたります。雲は「奥羽山脈」上空の冷たい空気に冷やされて雪に変わり山沿いに降ります。【図1】



町内にはアメダス観測所がないため、独自の降雪観測を行なっています。長年のデータを蓄積しています。町内観測地点のうち、上の【グラフ1】は農村環境改善センターの積雪深の一部をグラフにしたものです。平成29年が300cmと過去最高となっていて、雪が多い傾向にあることがうかがえます。